



知りたい下水道のこと



9月10日は『下水道の日』です。

下水道は、見えないところで私たちの暮らしを支えています。

今号では、皆さんに下水道への理解と関心を深めてもらうため、私たちの身近な生活に関わる下水道の役割や仕組みについてお知らせします。

▶問い合わせ 下水道グループ (☎059052)

下水道はどんな役割を果たしているの？



下水道は、私たちの生活から出る、洗濯やお風呂、食器洗いなどに使った『生活雑排水』やトイレで排泄される『し尿』を処理して、清潔で快適な生活環境を保つために役立っているほか、『雨水』を速やかに排水することで、道路の浸水被害を防ぎ、まちを守る役割を果たしています。

下水道がないとどうなるの？



市は、昭和56年度から市内の下水道の整備を開始しました。

下水道が整備される以前、多くの家庭では、し尿は各家庭に設けられた便槽に貯められ、一定程度溜まると、市の尿収集車にくみ取ってもらっていましたが、下水道が整備されたことにより、水洗化した家庭では、排泄と同時に宅外に排出されるようになりました。

また、生活雑排水の多くは、道路脇の側溝などに流されていましたが、道路脇の側溝は、多くの場合、川に繋がっているため、各家庭から排出された生活雑排水は、川に流れ込み、川や海の水が汚れる原因の一つになっていま

した。

また、生活雑排水が排出された道路脇の側溝には、油が浮き、ハエや蚊が発生するケースも多く、衛生環境の悪化にもつながっていました。

しかし、下水道が整備されたことにより、各家庭の生活雑排水は、きれいな水に処理されてから、川に放流されるようになりました。

道路脇の側溝に、油が浮いて虫が発生することもなくなり、衛生環境が向上したのはもちろん、川や海の水がきれいになるなど、自然環境の向上にもつながっています。

登別市の下水道はどうなっているの？



下水道管は、道路に沿って敷設されており、私たちの住む家は下水道管と繋がっています。

私たちの家から出された生活雑排水やし尿は、下水道管を通じて『若山浄化センター』（若山町）に運ばれ、きれいな水に処理してから川に放流しています。

平成29年3月末時点で、下水道整備を計画する地域の95・7割で整備が終了し、その地域にお住まいの9割近くの方が、下水道を利用しています。また、下水道を整備するためには、多額の費用がかかるため、人口の少な

下水道の豆知識

下水道には『汚水管』と『雨水管』があります。

『汚水管』は、各家庭から出された生活雑排水やし尿を若山浄化センターに運ぶため、『雨水管』は、雨水を集めて川などに流し、大雨による浸水被害を防ぐためのものです。

登別市の場合、『汚水管』と『雨水管』は別々に整備しており、マンホールにも、汚水と雨水の表示がされていますので、見つけてみてください。

なお、『汚水管』の整備は、おおむね終了していますが、『雨水管』の整備は、今後も続けていく予定です。



▲汚水の表示がされているマンホールのふた

い地域などでは、下水道管を整備する代わりに、市が希望に応じて各家庭に浄化槽を設置する事業（個別排水処理施設事業）を行っています。浄化槽を設置した家庭では、生活雑排水やし尿が浄化槽できれいな水に処理され、近くの排水溝などに流される仕組みになっています。現在では、下水道の整備と浄化槽の設置事業により、市内のほぼ全域で、生活雑排水やし尿を衛生的に処理する仕組みが整っています。